

2026. 1. 13

御殿場市で太陽光発電所が稼働 静岡銀行 16 店舗へ再生可能エネルギーの電力供給を開始

静岡リース（社長 若林紀伸）では、再生可能エネルギーを活用した電力事業の実証実験として、御殿場市内で太陽光発電所を稼働させ、2026年1月1日より静岡銀行16店舗へ電力供給を開始しました。

本取り組みは、地域で生み出した電力を地域で使う「地産地消モデル」の実現に向けた重要な一歩となります。今後は、本活動を通じて、地域における脱炭素化の加速ならびに環境と経済が両立した社会づくりをめざしてまいります。

1. 太陽光発電所および電力供給の概要

発電所の稼働日	2025 年 12 月 25 日（木）	パネル容量	519.68 kW
供給開始日	2026 年 1 月 1 日（木）	年間想定 発電量	52 万 kWh/年 ・ CO ₂ 削減量で約 220t/年、一般家 庭換算で約 130 世帯に相当
設置場所	御殿場市		
発電者	静岡リース株式会社		
供給先	静岡銀行 16 店舗 （御殿場支店、藤沢支店、小田原支店、大和支店、辻堂支店、湘南台支店、 港北ニュータウン支店、橋本支店、用宗支店、興津支店、清水中央支店、 清水南支店、清水支店、三保支店、蒲原支店、富士川支店）		

※静岡リースは 2025 年 9 月 26 日に小売電気事業者に登録しています。

(<https://www.shizugin-lease.com/news/20250922>)

2. 取り組みの背景と目的

- しずおかフィナンシャルグループで取り組む第 1 次中期経営計画「Xover～新時代を拓く」では、サステナビリティ指標の 1 つに「静岡県内の温室効果ガス排出量の削減（2030 年度までに 2013 年度比 46%削減）」を掲げ、地域の脱炭素化の実現に向けた取り組みを推進しています。
- 本実証実験は、静岡リースが地域における再生可能エネルギーの循環利用を進めるにあたり、その実効性と持続可能性を検証することを目的としています。
- 発電所の開発にあたっては、用地選定や各種許認可の取得、建設工事に至るまで地域事業者と連携して進めるなど、エネルギー事業を通じた地域経済への波及効果も重視しました。

3. 今後の方針について

（1）農業との共存をめざす新たなチャレンジ

- ・太陽光パネルの下部スペースを活用し、地域農業法人と連携した「碾茶（てんちゃ）栽培」の可能性を検討します。
- ・抹茶の原料となる碾茶の生産は、耕作放棄地の有効活用や農業課題の解決につながる可能性があり、再生可能エネルギーと農業の両立によって、地域資源を最大限に活かす新たなモデルの構築をめざします。



（2）地域とともに未来を創造

- ・本実証実験を通じて地域事業者との連携をさらに深化させ、脱炭素社会の実現と地域経済の持続的な成長に貢献するとともに、次世代につながる成長モデルの確立に挑戦してまいります。

未来がはじまる場所になる。



しずおかフィナンシャルグループ